

港区観光ボランティアの会

港区観光ボランティアの会は、港区が実施している育成講座を修了した港区公認のガイドで作られている会です。「広報みなと」などで募集する「参加者募集ツアー」と、お客様の希望する日時にガイドを派遣する「ガイド派遣サービス」を提供しています。詳細は、下記をご覧ください。

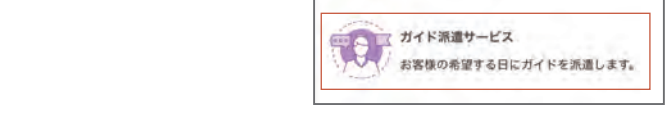
「港区観光協会」ホームページ
(<http://www.visit-minato-city.tokyo/ja-jp/>)

ガイド派遣サービス申込方法

1 港区観光協会ホームページにアクセスします。



2 右下の「ボランティアガイド」の「ガイド派遣サービス」をクリックします。



3 タイトルの下にツアーのリストが表示されますので、ご希望のツアーをクリックして選び、内容を確認のうえ「お申し込み」の項目に入力して、「送信する」をクリックください。



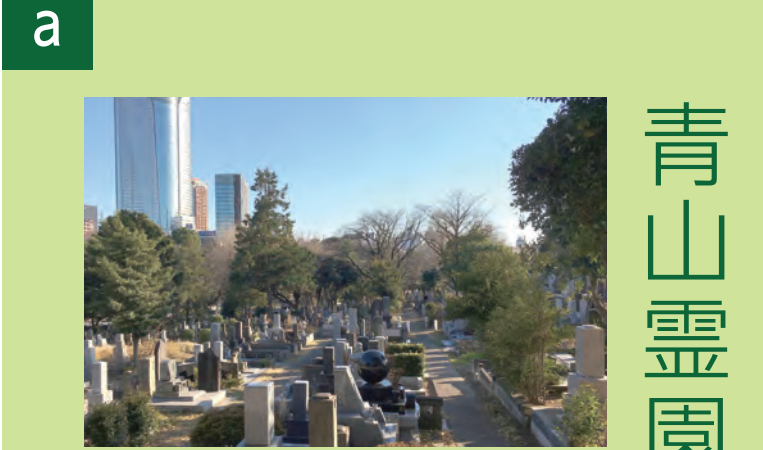
- 申込人数:原則として2名以上、20名以内(小学生以上)
- 申込時期:希望日の2ヶ月前から20日前まで
- ガイドの手配が難しい場合もあることをご確認ください

ガイドは、港区南青山のJUNKO KOSHINO デザイン監修の法被を着用してご案内します。

本誌記載の情報は、発行後に変更になる場合もございますので、お出かけの際には、お電話等で事前にご確認いただくことをお勧めいたします。

問合せ先 港区観光協会 ボランティアガイド担当 03-6809-5514(平日9~17時)

発行 一般社団法人 港区観光協会 東京都港区芝5-36-4
編集 港区観光ボランティアの会 発行年月 令和6年1月

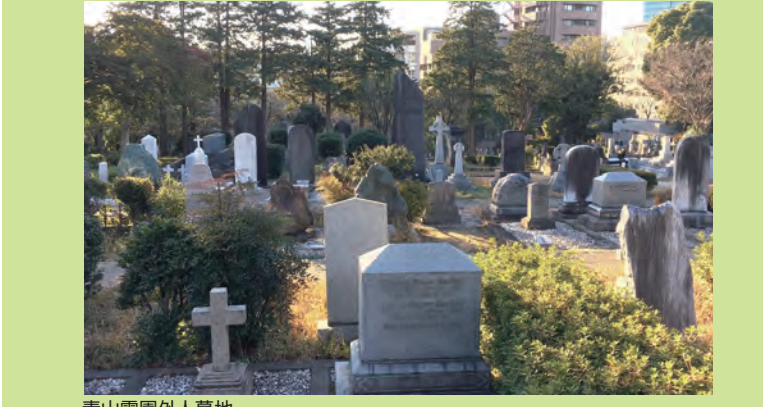


青山霊園は、南青山二丁目一帯に広がる23区最大の霊園です。江戸時代の美濃国郡上藩(現岐阜県郡上市)青山家の屋敷跡に、明治7年(1874)に開園しました。敷地面積26万平方メートル(東京ドーム約5.6個分)、埋葬数は13万体にのびます。ここには以下のような、様々な分野の多くの著名人が眠っています。

- 明治維新の功労者** 大久保利通^{a1}、森有礼、後藤象二郎、副島種臣など
- 政治家** 第2代黒田清隆から第83代橋本龍太郎まで全11人の歴代総理大臣など
- 文学者/画家** 尾崎紅葉^{a2}、志賀直哉、斎藤茂吉、藤島武二、岡田三郎助など
- 医者/科学者** 北里柴三郎^{a3}、長岡半太郎、高峰譲吉など
- 実業家** 森永太郎^{a4}、御木本幸吉、池貝庄太郎など
- 歌舞伎役者** 市川團十郎、中村吉右衛門など
- 軍人** 乃木希典、山本権兵衛、秋山好吉、広瀬武夫など

「外人墓地」^{a5}と呼ばれる区画には、日本の近代化に貢献したお雇い外国人や宣教師など外国人のお墓があります。童謡「赤い靴」のモデル「佐野きみ」^{a6}も眠っています。また「忠犬ハチ公の碑」^{a7}が飼い主上野博士のお墓の隣にひっそりと建っています。

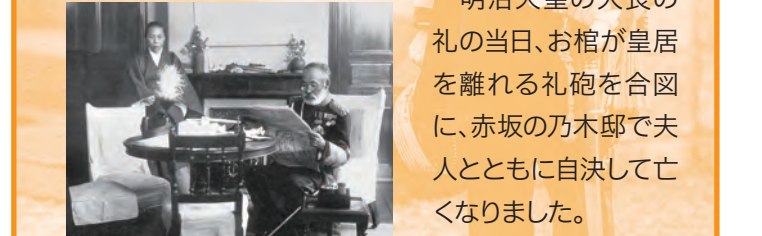
青山霊園は開設当時の武蔵野の面影を留めており、400本以上のソメイヨシノをはじめとする四季折々の樹木が来園者を出迎えてくれます。



青山霊園外人墓地

乃木希典
麻布に生まれ、赤坂に住み、青山に眠る

日清・日露戦争で司令官として活躍した乃木希典(1849~1912)は、港区と強いかかわりがありました。



明治天皇の大喪の礼の当日、お棺が皇居を離れる礼砲を合図に、赤坂の乃木邸で夫人とともに自決して亡くなりました。

日露戦争の報告を明治天皇の御前で行ったときに、「多くの大切な兵士を亡くしてしまったお詫びに自決させてほしい」と申し出ましたが、明治天皇からは「自分が生きている間に自決はまかりならぬ」と止められて、その約束を守りました。

戦勝の祝賀会やパレードを一切断り、戦死した兵士の遺族に謝りにまわり、那須の農園で農耕生活に勤しんで自責の念を持ち続けていました。

日露戦争の戦勝後の水師營の会見で、敗軍の将士テッセル司令官に武士の精神で手厚く接し、NYタイムズ一面で報じられるなど世界中で称賛されました。

しかし、本人は旅順攻撃で、6万人の兵士を死傷させたことへの責任感で一杯でした。



乃木邸馬屋(住居より先に建てられた)

^{b1})で10歳まで過ごしました。

30歳で静子夫人と結婚し虎ノ門^{b2}に住み、長男が生まれたときに赤坂に簡素で合理的な乃木邸^{b3}を建てて、62歳で自決するまで暮らしています。

墓所は青山霊園^{b4}で、夫婦とも自然石の質素な墓石で、日露戦争で戦死した息子2名とともに眠っています。

亡くなったあと、多くの方から崇められて、乃木神社^{b5}に祀られました。

青山霊園・乃木墓所

勝海舟、赤坂から「世界の中の日本」を

勝海舟(1823~1899)は動乱の幕末で、赤坂から「世界の中の日本」を見据えて、欧米列強に対抗するため日本に新たな政治体制を築くことを目指し、様々な活動しました。

生まれ育った本所から、23歳で蘭学を本格的に学ぶため赤坂田町^{c1}の長屋に転居し、結婚しました。

黒船来航に際し「海防意見書」を幕府に上申し、翻訳係として登用されました。

33歳の時に長崎に新設の「海軍伝習所」の学生長に抜擢され、オランダ人教官から操船技術を学び、36歳で日本人だけの海軍学校を設けるため江戸に戻り、水川神社坂下に邸宅^{c2}を設けました。

そこから咸臨丸で太平洋を横断して渡米し、アメリカでは世襲でなく誰でも大統領になれるのが近代国家の民主主義と知って驚き、海の外から眺めた体験から「世界の中の日本」の枠組みを作りました。

その考え方に感銘を受けた坂本龍馬は、後に勝海舟の弟子になりました。

45歳の時に大政奉還、「衆議」に基づく政治へと期待しましたが、倒幕派は王政復古のクーデターで慶喜の辞官・納地を決定、軍を江戸に向かわせました。

勝は西郷に書状を送り、「徳川は朝廷に恭順なのに兵を向けるとは何事か!」と伝え、江戸を守るため様々な手を打ち、3月14日の西郷隆盛との薩摩蔵屋敷^{c3}での会談で江戸城総攻撃の中止が最終的に決まりました。

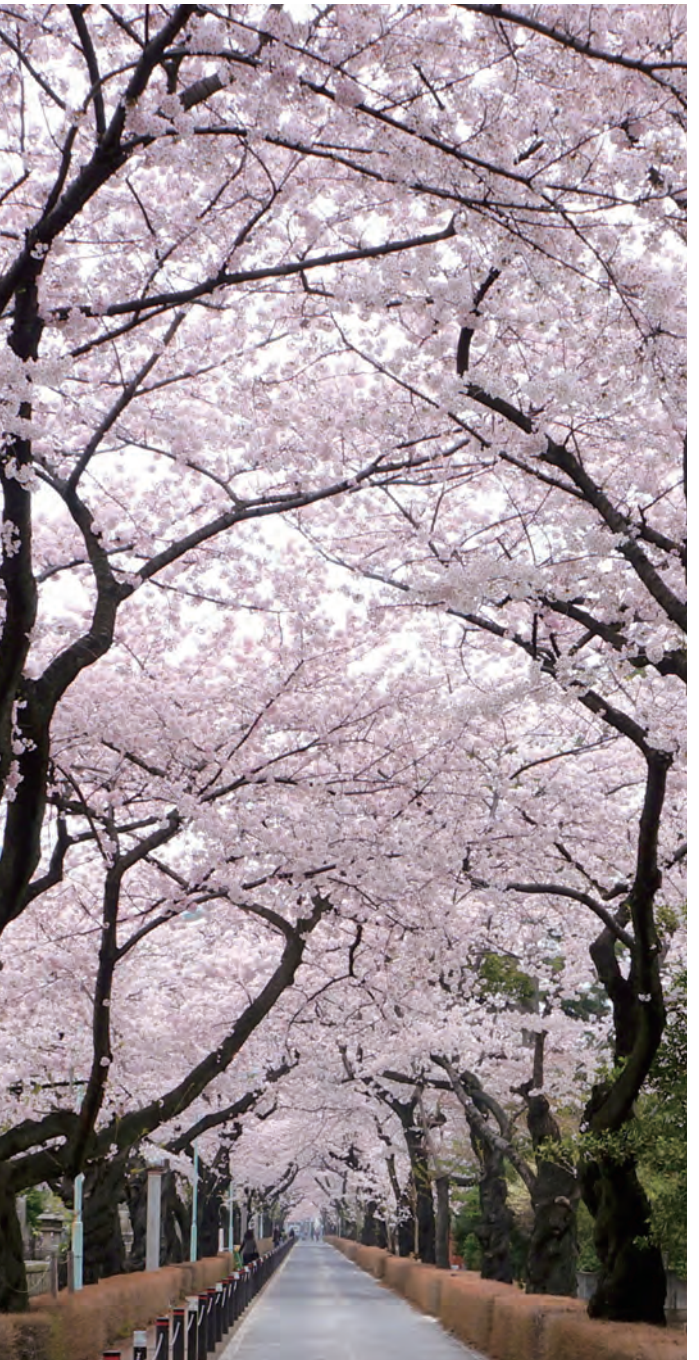
平成28年(2016)、49歳から76歳で亡くなるまで住んだ大邸宅(元水川小学校の敷地)跡^{c4}に、勝海舟と坂本龍馬の師弟像が建立されました。



勝海舟・坂本龍馬師弟像



MINATO-KU MACHI MAP
港区まち歩きコースマップ
B
エリア
赤坂・青山
AKASAKA / AOYAMA



- | | |
|-------------------|------------------|
| COURSE B1 外苑コース | COURSE B2 南青山コース |
| COURSE B3 赤坂見附コース | COURSE B4 乃木坂コース |

港区観光協会

COURSE B1 外苑コース

11 梅窓院

寛永20年(1643)、徳川幕府の老中であつた青山忠成の四男幸成の菩提寺として青山家の下屋敷内に建立され、青山家の有名人・著名人のお墓が多く、建物は隈研吾氏の設計による斬新な都市型寺院で、参道は京都の竹林のような趣です。



12 秩父宮ラグビー場

昭和22年(1947)、空襲で焼失した女子学習院跡地に「東京ラグビー場」として開設されました。昭和28年(1953)、日本ラグビー協会総裁であつた秩父宮雍仁親王の薨去により、「秩父宮ラグビー場」と改称され、数々の名勝負の舞台となってきました。



13 TEPIA 先端技術館

一般社団法人高度技術社会推進協会(略称TEPIA)が運営する、先端技術を見て、触って、体験できる学びのミュージアムです。社会的に重要な課題と関連付けながら、さまざまな先端技術をわかりやすく展示しています。シアターでの映像視聴やワークショップ(要予約)もあり、子供から大人まで楽しめる無料の施設です。(リニューアル休館中)



14 神宮球場

大正15年(1926)に竣工した、阪神甲子園球場に次ぐ、日本で2番目に古い球場です。学生野球の聖地として知られ、プロ野球東京ヤクルトスワローズの本拠地でもあります。球場周りのアーケードは、イタリアのコロッセオ競技場をイメージして造られています。



15 新国立競技場

旧国立競技場は、大正13年(1924)に完成した日本初の大規模スタジアムでした。もとは明治神宮の所有でしたが、昭和39年(1964)のオリンピック開催時に国に譲渡されました。2020年のオリンピックに向け、隈研吾氏設計の新国立競技場が建設されました。

16 聖徳記念絵画館

明治天皇と昭憲皇太后のご遺徳を永く後世に伝えるために、大正15年(1926)に造られた建物です。館内には、お二人の業績を描いた洋画・日本画40点ずつの大壁画が、年代順に展示されています。平成23年(2011)国の重要文化財に指定されました。



17 明治神宮外苑いちよう並木

樹齢100年を超える146本のいちようが、300メートルに渡り4列で植えられています。青山通りより樹高が高い順に植えられており、聖徳記念絵画館を中心とした遠近法による美しい景色は、人気のフォトスポットです。



COURSE B2 南青山コース

21 青山霊園

明治7年(1874)に開園され、多くの著名人が眠る23区最大の霊園です。日本の近代化に貢献した外国人も多く眠っています。緑が豊かで美しい桜並木も有名です。



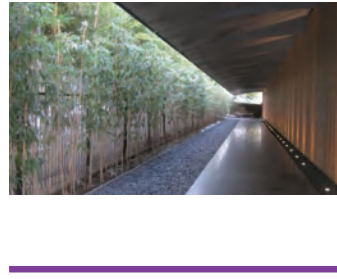
22 秋山庄太郎写真美術館

写真家秋山庄太郎の旧アトリエを改装した美術館です。写真作品や収集された絵画等が展示されている他、写真芸術に関する講演会や学習会も行なわれています。



23 根津美術館

実業家で茶人の根津嘉一郎が蒐集した日本・東洋の古美術を展示するために、昭和16年(1941)に開館しました。現在の本館は隈研吾の設計です。4棟の茶室が点在する庭園は四季の移りかわりが楽しめます。



01 迎賓館赤坂離宮

かつて紀州徳川家の江戸中屋敷があつたところに、明治42年(1909)に東京御所として建設されたもので、日本における唯一のネオ・バロック様式の西洋風宮殿建築です。戦後、改修され昭和49(1974)に迎賓館として開館しました。通年で一般公開されており、予約なしで参観できます(和風別荘のみ要予約)。参観料は本館・庭園1,500円。

24 岡本太郎記念館

「太陽の塔」で有名な芸術家、岡本太郎が生前50年近く自宅兼アトリエとして暮らしていた家は坂倉準三の設計で、庭にも躍動感にあふれた作品が展示されています。



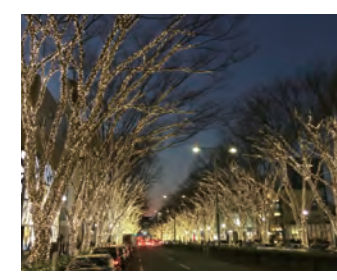
25 青山ファッション街

国際的にも有名なブランドショップやセレクトショップが道の両側に立ち並んでいます。個性的な建物が多く、ウィンドウショッピングも楽しめます。



26 表参道

明治神宮の表参道として、シンボルとなるけやき並木が連なり、流行の発信地として賑わっています。クリスマスイルミネーションのさきがけとも言われています。



COURSE B3 赤坂見附コース

- 発 銀座線外苑前駅1b出口 移動時間 1分
 - 11 梅窓院 5分
 - 12 秩父宮ラグビー場 1分
 - 13 TEPIA 先端技術館 1分
 - 14 神宮球場 1分
 - 15 新国立競技場 5分
 - 16 聖徳記念絵画館 7分
 - 17 神宮外苑いちよう並木 7分
 - 着 銀座線半蔵門線大江戸線 青山一丁目駅 5分
- 所要時間(入場・休憩含まず) 約1時間30分

- 発 銀座線半蔵門線大江戸線 青山一丁目駅5出口 移動時間 7分
 - 21 青山霊園 20分
 - 22 秋山庄太郎写真美術館 7分
 - 23 根津美術館 3分
 - 24 岡本太郎記念館 5分
 - 25 青山ファッション街 7分
 - 26 表参道 5分
 - 着 銀座線半蔵門線千代田線 表参道駅 5分
- 所要時間(入場・休憩含まず) 約2時間

- 発 千代田線乃木坂駅1出口 移動時間 3分
- 41 旧乃木邸 1分
- 42 乃木神社 1分
- 43 東京ミッドタウン 10分
- 44 櫛町公園 3分
- 45 赤坂氷川神社 10分
- 46 南部坂 5分
- 47 アークヒルズ 3分
- 着 南北線六本木一丁目駅 約2時間

- 発 千代田線乃木坂駅1出口 移動時間 3分
- 41 旧乃木邸 1分
- 42 乃木神社 1分
- 43 東京ミッドタウン 10分
- 44 櫛町公園 3分
- 45 赤坂氷川神社 10分
- 46 南部坂 5分
- 47 アークヒルズ 3分
- 着 南北線六本木一丁目駅 約2時間



COURSE B3 赤坂見附コース

- 発 銀座線丸の内線 赤坂見附駅A出口 移動時間 5分
- 31 豊川稲荷東京別院 7分
- 32 赤坂金龍 5分
- 33 赤坂サカス 3分
- 34 TBS 7分
- 35 勝海舟邸跡 5分
- 36 赤坂氷川神社 5分
- 37 勝海舟・坂本龍馬師弟像 10分
- 着 銀座線南北線溜池山王駅 約2時間



32 赤坂金龍跡

赤坂は料亭街として栄えていましたが、最近では料亭の数も少なくなり、金龍も気軽に日本の伝統的雰囲気を楽しめる店に生まれ変わりました。黒屏が残る唯一の場所ですが、2019年3月に閉店しました。



33 赤坂サカス

レストランやショップ、ライブハウスや劇場が集まった街で、広場では色々なイベントが開かれています。サカスの名称は、坂が多い「坂s」、百本の桜を「咲かす」などからつけられました。

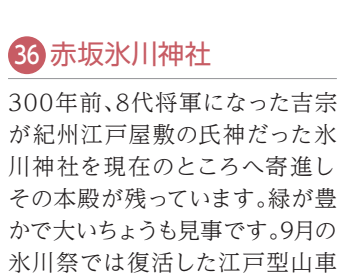


34 TBS

民放第1号のラジオとテレビの兼営局として開局しました。東京放送からTBSとなり、ドラマの6チャンネルとして親しまれてきました。

35 勝海舟邸跡

勝海舟が赤坂で2番目に住んだ邸宅跡です。10年住む間、威風凛々とした米國へ行き、帰国後坂本龍馬と出会い、西郷隆盛と会談しました。小さなビルの脇に碑があります。



36 赤坂氷川神社

300年前、8代将軍になった吉宗が紀州江戸屋敷の氏神だった氷川神社を現在のところへ奇進し、その本殿が残っています。緑が豊かで大いようも見事です。9月の氷川祭では復活した江戸型山車が巡行し、大いに賑わっています。



37 勝海舟・坂本龍馬師弟像

勝海舟が76歳で亡くなるまで住んでいた大邸宅跡に、平成28年(2016)に建てられた勝海舟・坂本龍馬師弟像です。龍馬が開国を唱える勝を斬ろうとして訪れたとき、勝の思想に触れて考えを変え、弟子入りしたという逸話に基づいています。



COURSE B4 乃木坂コース

41 旧乃木邸

日清・日露戦争に従事して、明治天皇崩御の後に殉死した陸軍大将乃木希典の邸宅です。ドイツ留学中に見たフランス軍兵舎を参考にし、明治35年(1902)に新築されました。内部は簡素かつ合理的に造られていて、毎年9月13日の命日など数日のみ公開されています。



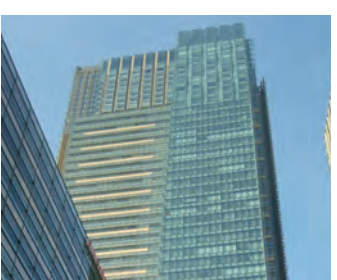
42 乃木神社

乃木將軍夫妻の御霊を祀り、国民崇拝の祠とすることを目的として大正12年(1923)に創建された神社です。乃木邸の隣地を鎮座の地としました。



43 東京ミッドタウン

平成19年(2007)に開業した再開復複合施設です。中でもミッドタウンタワーは、高さ248mの超高層ビルです。季節に合わせて様々なイベントが開催されています。



47 アークヒルズ

アークヒルズはオフィス、住宅、コンサートホールやテレビスタジオなど多様な機能が融合しており、20年近くかかった民間による大規模複合再開復事業の先駆けです。さくらまつりやマルシェなどのイベントも開催されます。

44 櫛町公園

櫛が多く「櫛屋敷」と呼ばれた萩藩・毛利家の麻布下屋敷の庭園跡で、東京ミッドタウンに隣接しています。萩より寄贈された藪ツバキや夏ミカンの木があり、四季折々に咲く花を愛でながらの散策が楽しめます。



45 赤坂氷川神社

B3 赤坂見附コース 36 参照

46 南部坂

忠臣蔵の名場面「南部坂雪の別れ」の場所です。浅野内匠頭の夫人瑤泉院のお屋敷がありました。討ち入り前日に来た大石内蔵助が密偵をごまかすため赤繩に帰ると嘘を言って別れた所です。



47 アークヒルズ

アークヒルズはオフィス、住宅、コンサートホールやテレビスタジオなど多様な機能が融合しており、20年近くかかった民間による大規模複合再開復事業の先駆けです。さくらまつりやマルシェなどのイベントも開催されます。

